

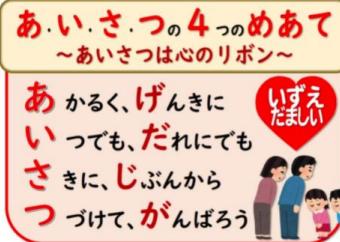
古井の川通信

思いやりの子 考える子 がんばる子

学校便り



出部小学校
10月31日発行



すごしやすい秋を迎えて

10月になりました。ようやく暑さも和らぎ秋めいてきました。晴れている日は、これまでのようにむっとした暑さではなく、カラッとしたさわやかな空気に変わってきたように感じます。鮮やかな青空を見上げてみると、真夏のモクモクとした入道雲に代わって、今は白い秋の雲が軽やかに流れています。そのさわやかな朝の空気の中で、子どもたちは元気に登校してきて、「おはようございます。」と元気な声が聞こえています。

さて、このような過ごしやすい秋の季節にお勧めしたいのが読書です。本を読むことで、様々な効果があると言われています。例えば、知識の蓄積です。自分が知りたい情報を本から学ぶとき、そのこと以外にも、関連する周辺の情報が次々に入ってくるので、これを繰り返していくばずと幅広い知識が身についてくることでしょう。言葉を介して自分の気持ちを表現することが多い私たちですが、読書により語彙や言い回しのバリエーションも増えてきます。そうすると、会話力や文章力も向上し、より的確に自分の考えを相手に伝えることができたり、より円滑な人間関係を構築したりと、コミュニケーションにおいても力を発揮できるようになると思います。

もう一つ、読書の効果を挙げるとすると、想像力と創造力の研磨です。物語を読み進めていくと、自分の知らなかつたお話の世界にどんどんと没入していきます。主人公の置かれた環境や生き方、人となり、周りの人々の様子など、たとえそれが架空の設定であったとしても、心の中では「どういう様子なのだろう…」「どんな気持ちだったのだろう…」と想像が膨らみます。その際、挿絵があればそれにも目をやることで、さらに思い描いた像は膨らみます。あちこちと考えを巡らせ想像する、この繰り返しが本の世界から離れたとき、すなわち毎日の生活においても大いに役立つのだと思います。

さらには、人への優しさや思いやり、時として必要な勇気など、人と人がかかわり合う社会において必要不可欠な内面的資質についても、人の気持ちを慮った想像を繰り返していくことで磨かれていくことでしょう。このように、本は読めば読むほど、自分の可能性が拓けてきて、いいこと尽くめの効果をもたらします。子どもたちには、本とのすてきな出会いを通して、心がワクワクするようなすばらしい時間を味わってもらいたいです。

これからは、落ち着いて物事に取り組むことができる気候となります。この機に、子どもたち一人ひとりがお話の世界の扉を開けて、その中をそれぞれの感性で旅していくことで、たくさんの宝物を見つけてくることを願っています。



読書の秋

10月



出部小学校
10月31日発行

授業参観ありがとうございました

9月9日(火)に、2学期最初の参観授業がありました。お忙しい中、たくさんの方にお越しいただき、本当にありがとうございました。また、スペースの都合上、運動場に駐車していただける車の台数に限りがあります。引き続き、自転車や徒歩での来校にご協力頂けると助かります。よろしくお願い致します。



井原ワーク&ライフキャリア教育

4年生 美星研修!

4年生が9月10日(水)に美星天文台とクロキ株式会社の見学に行きました。天文台では4D2Uを体験しました。クロキ株式会社の本社工場ではデニム作りの工程を見たり、井原デニムのすごさや魅力について教えていただいたりしました。井原にもすばらしいところがたくさんあることを知りました。



3年生 青野のぶどう作りを学習!

9月19日(金)に3年生が青野中央選果場と葡萄浪漫館へ見学に行きました。ぶどうを出荷するまでの工程や、ぶどう農家の方が大切に育てた商品を扱うときの工夫などについて学習してきました。

